



MOTOWN

モータウン・ハンドブック

湯浅 学 編



K&B
PUBLISHERS



MOTOWN

モータウン・ハンドブック

湯浅 学 編

K&B
PUBLISHERS



まえがき

モータウンは60年代の大衆音楽に非常識な衝撃＝快楽を与えた、希有なインディペンデント・レーベルである。ソウル・ミュージック、ポップス、いずれの方向からでも興味深い作品、アーティスト、エピソードを数多く残している。60年代中期のアメリカン・ヒット・チャートでモータウンは独立独歩で老舗メジャー・レコード会社や押し寄せるイギリスの若僧たちと五分以上に渡り合ったほとんど唯一のレコード会社だった。その後、たくさんの作品を残し、紆余曲折を経て、現在に至っている。

モータウンは確かに“特別な”レーベルだった。本書はその足跡を辿りつつ、レコード・ガイドの役割も果たせるようにとの意図で構成したものである。

偉大なるモータウン、イイ話だらけのモータウン、その功績の数々を知るお手伝いができれば幸いです。

まえがき	p.03
モータウン1957-59 ～ベリー・ゴードーの苦悩	p.06
モータウン1960-67 ～デトロイトから全米へ	p.09
ビートルズとモータウン ～ビートルズは最後までモータウンと離れず	p.12
モータウン1968-72 ～内省と新展開のはざままで	p.16
60年代モータウン・サウンドの研究 ～いい音とは “ イイ音 ” なり	p.18
モータウンの礎となった人々 1. ベリー・ゴードー・ジュニア	p.24
2. スモーキー・ロビンソン&ミラクルズ	p.25
3. マーヴェレッツ	p.27
4. メリー・ウェルズ	p.28
5. コントゥアーズ	p.29
6. マーヴィン・ゲイ	p.30
7. スティーヴィー・ワンダー	p.32
8. ダイアナ・ロス&シュプリームス	p.34
9. マーサ&ザ・ヴァンデラス	p.36
10. テンブレーションズ	p.38
11. フォー・トップス	p.40
12. Jr.ウォーカー&ザ・オール・スターズ	p.42
13. ラフィン・ブラザーズ	p.43
14. グラディス・ナイト&ザ・ピップス	p.44
15. エドウィン・スター	p.45
16. ジャクソン・ファイヴ	p.46
17. ザ・ファンク・ブラザーズ	p.48
おそるべきジェームス・ジェマーソン再考	p.50
モータウン・スタジオ見学記	p.56
映画『永遠のモータウン』の魅力	p.58
『永遠のモータウン』論評	p.61
まんが世界のファンク・ブラザーズ的	p.63
ファンク・ブラザーズのアルバイト ～そこらでちょちょいと	p.64
モータウンの礎となった人々 18. H-D-H	p.67

モータウンを後にしたH-D-Hは ～ホットワックス/インヴィクタスとその周辺	p.68
モータウンの礎となった人々 19. ノーマン・ホイットフィールド	p.71
ノーマン・ホイットフィールドは熱かった	p.72
モータウン1973-77 ～明日は何処に	p.74
ディスコとモータウン ～コモドアーズと魔境	p.77
モータウンの礎となった人々 20. リック・ジェームス	p.80
モータウンの80年代 ～迷いのままだ	p.82
モータウンの90年代そして現在 ～モータウンの旅、第2章	p.86
ヒップホップとモータウン ～その相性について	p.90
80年代イギリス（ニューウェイヴ）とモータウン ～モータウン・サウンドはいかに消化されたか	p.92
ジャズとモータウン ～ベリーの憧れ	p.96
クラブとモータウン ～グローバー・ワシントン・ジュニアは なぜクラブ世代に支持されるのか	p.100
歌謡曲とモータウン ～至るところにモータウンあり	p.102
チカーノとモータウン ～愛ゆえのちぐはぐなその関係と魅力	p.104
レアシングル事情 ～マニア予備隊のみなさんへ	p.108
モータウン ディスク・ガイド 1	p.110
モータウン ディスク・ガイド 2	p.165
あとがき	p.190